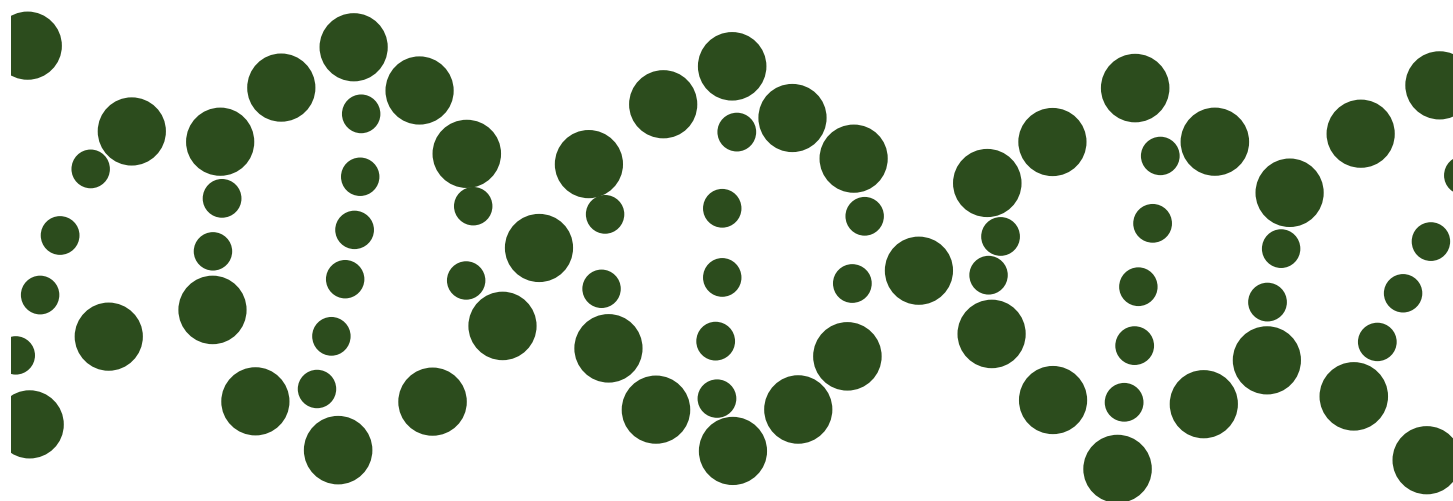


HOKKAIDO SPECIAL NEEDS EDUCATION CENTER

令和6年度（2024年度）

研修事業案内



北海道立特別支援教育センター

令和6年度の研修事業について

多様な研修ニーズに応えられるよう、**ハイフレックス研修を充実**させ、受講者の資質能力を高めるための研修機会の確保に努めます。

特センの研修が
変わります！

受講者にとって分かりやすい研修の構成を目指し、従来の「研修講座」と「自主的研修コース」という、研修の目的による枠組みを大きく見直し、「**特センで受講する研修**」と「**学校や自宅等で受講する研修**」に大別した上で、以下の**3つの研修形態により実施**します。

特センで受講する研修

学校や自宅等で受講する研修

集合研修



☐ 講師や他の受講者、
所員との関わりを通
じた協働的な学び

☐ 特センの蔵書や資料、
検査器具、設備等の
活用が可能

ハイフレックス研修



☐ 一つの講座を集合と
遠隔の両方で実施す
る同時双方型の学び

☐ 受講者自身の学び方
に合わせて受講形態
の選択が可能

遠隔研修



☐ 双方向通信を活用し
た講師や受講者との
対話による学び

☐ Web会議サービス（Zo
om）の活用により遠
隔地でも移動を伴わ
ずに受講が可能

- ・ 特センに集合して受講する研修です。最大110名まで特センが旅費を措置します。

※学校種に応じて上限あり

- ・ 最大受入れ人数まで、自校からの旅費措置等による受講も受け入れます。

- ・ 受講者の希望に応じて集合研修か遠隔研修を選択して受講する研修です。

- ・ 集合研修の場合は、自校からの旅費措置等により受講いただきます。

- ・ Web会議サービス（Zoom）により、学校や自宅等から受講する研修です。

- ・ 遠隔研修に必要な端末を御準備の上、学校や自宅等で受講いただきます。

もくじ

1 集合研修

- ◆ 一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - 1 支援体制づくり研修講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - 2 授業づくりレベルアップ研修講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 3 自立活動研修講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

2 ハイフレックス研修

- ◆ 一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - 1 特別支援教育基本セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - 2 障がい別エントリーコース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 3 特別支援教育コーディネーター基本コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 4 心理アセスメントコース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
 - 5 寄宿舍指導員コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - 6 実習助手コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - 7 特別支援学校 POWER UP セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

3 遠隔研修

- ◆ 一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - 1 高等学校コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - 2 幼稚園等コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - 3 通常の学級コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

4 公開講義

- ◆ 目的、◆ 一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

5 研修支援

- ◆ 目的、◆ 内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 特センライブラリ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

6 申込手続き

- (1) 集合研修の申込手続き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (2) ハイフレックス研修及び遠隔研修の申込手続き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

7 受講ガイド

- (1) 特セン研修の受講・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (2) 公開講義の受講・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

8 アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

1 集合研修

◆ 一覧

番号	講座名	期日		最大受入れ人数	掲載ページ	申込
1	支援体制づくり研修講座	本研修	9月18日～ 9月19日	60名	2ページ	7月
		事後研修	12月20日			
2	授業づくりレベルアップ 研修講座	本研修	9月26日～ 9月27日	50名	3ページ	7月
		事後研修	2月7日			
3	自立活動研修講座	事前研修	9月17日～ 10月15日の間	60名	4ページ	7月
		本研修	10月22日～ 10月23日			
		事後研修	1月21日			

● 3つの研修を合わせて最大110名に旅費を措置します。

※特別支援学校は最大70名、小・中・高等学校等は最大40名までを上限とし、申込みの状況を踏まえて、予算の範囲で特センが決定します。

※期限付や道教委が給与を負担していない教職員は旅費を措置できません。

● 旅費の措置対象とならなかった場合でも、自校からの旅費措置等や校外研修（職専免）での受講が可能です。最大受入れ人数に達するまで、受講を受け入れます。

● 受講決定時に旅費措置の可否についてお知らせします。

● 受講の対象者は、各研修のページに詳しく掲載しております。御確認の上、お申し込みください。



支援体制づくり研修講座

多様な学びの場についての理解を深め、地域及び各学校の支援体制の充実に向けて必要となる知識・技能を身に付けます。

対象：特別支援学校教員
小・中・高等学校等教員
※各市町村の教育支援委員会に携わる特別支援教育コーディネーター
※今後、校内や地域で支援体制づくりの中核となることを期待される特別支援教育コーディネーター
最大受入れ人数：60名
(特：30名、小・中・高等：30名)
受講決定：7月中旬

○ 日程

1 本研修 9月18日(水)～9月19日(木) 【集合】

9:20 9:45 10:00

12:00 13:00

13:50 14:00

16:20 16:30

説明	演習 1		講義 1	演習 2	説明
受付	開講式・オリエンテーション ・特別支援教育コーディネーターに求められるファシリテーションの力 北海道教育大学釧路校准教授 田中雅子氏 昼食・休憩		・教育支援委員会の役割と就学先決定に向けた総合的な判断 特セン所員	・教育的ニーズを踏まえた適切な学びの場の検討 特セン所員	講義の振り返り

8:30

9:00

9:50 10:00

12:00 13:00

15:10 15:30

部会	講義 2	協議 1		協議 2	説明
受付	特別支援学校 ・教育支援委員会における助言の在り方	・学びの場の判断に関わる特別支援学校教員の役割 ・就学後の学びの場の見直し 昼食・休憩		・センター的機能の充実に向けた方策の検討 ・校内支援の充実に向けた方策の検討	講義の振り返り
小・中・高等					

2 事後研修 12月20日(金) 【遠隔】

12:30 13:00

14:40 14:50 15:00

協議 3	説明	説明
受付 ・取組の改善・充実に向けた方策の振り返りと修正	講座のまとめ	講座の振り返り・閉講式

就学の仕組みを
しっかりと理解し、地域や
学校の支援体制を充実
させましょう。



○ 主な内容

- 適切な学びの場の決定に関わるプロセスについての理解や教育支援委員会の役割などについて、講義や演習を通じて理解を深めます。
- 2日目は学校別部会に分かれ、自校や地域の課題解決に向けた協議を行います。

○ 備考

- 課題解決プランニングシートの提出について
①本研修前：9月6日、②事後研修前：12月11日、③全日程終了後：1月17日

授業づくりレベルアップ研修講座

障がいのある児童生徒に資質・能力を育む上で必要となる授業改善や教材の作成、学習評価に関する知識を身に付け、授業力の向上を図ります。

対象：特別支援学校教員

※教職経験が5年から15年程度の授業力を高めたい教諭

最大受入れ人数：50名

受講決定：7月中旬

○ 日程

1 本研修 9月26日（木）～9月27日（金） 【集合】

9:20 9:45 10:00 12:00 13:00 13:40 16:20 16:30

説明	基調講義		講義 1	交流・協議 1	説明
受付	・資質・能力の育成を目指した授業づくり 国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官 福本 徹氏	昼食・休憩	・障がいのある児童生徒の資質・能力の育成 特セン所員	・授業の交流と課題の整理 ①教材づくりコース ②授業改善コース ③学習評価充実コース	講義の振り返り

8:30 9:00 9:40 12:00 13:00 14:10 14:20 15:45 16:00

説明	講義 2	説明・演習・協議		個人ワーク	交流・演習	説明
受付	・授業づくりの実際 特別支援学校教員 ※コース別に実施	・確かな学びにつながる授業づくりに向けて ※コース別に実施	昼食・休憩	・本研修後に実施する授業の計画や教材の作成	・計画の交流と実践に向けたシミュレーション	講義の振り返り

2 事後研修 2月7日（金） 【遠隔】

12:30 13:00 13:40 14:40 14:50 15:00

説明	報告	交流・協議 2	説明	説明
受付	・フォローアップ校の取組	・本研修後の授業実践の共有と更なる授業改善に向けて	講座のまとめ	講義の振り返り・閉講式

本研修後の実践を必要に応じて特センがフォローアップします。



○ 主な内容

- ・育成を目指す資質・能力の3つの柱を踏まえた授業づくりの在り方を学びます。
- ・自身の課題に応じてコースを選択し、授業力を向上させます。

※【コース】①授業のねらいを達成するための教材づくりコース（ICT教材を含む）
②主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善コース（単元及び1単位時間）
③各教科等の目標の実現と指導の改善につなげるための学習評価充実コース

○ 備考

- ・課題解決プランニングシートの提出について

①本研修前：9月12日、②事後研修前：1月27日、③全日程終了後：3月6日

自立活動研修講座

自立活動の意義や指導内容の設定について理解を深めるとともに、障がい種に応じた効果的な指導を行うための知識・技能を身に付けます。

対象：特別支援学校教員

特別支援学級担当教員

通級指導教室担当教員

最大受入れ人数：60名

(特：30名、小・中・高等：30名)

受講決定：7月中旬

○ 日程

1 事前研修 9月17日(火)～10月15日(火)の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

講義 1	講義 2	選択講義
自立活動の指導の基本について (約20分)	自立活動の個別の指導計画について (約20分)	各障がいにおける自立活動の指導 ※障がい種別で選択(約20分)

2 本研修 10月22日(火)～10月23日(水) 【集合】

9:20 9:45 10:00		12:00 13:00		16:20 16:30	
説明	基調講義		説明・演習・交流	説明	
受付 開講式・オリエンテーション	自立活動の指導の基本と実態把握に基づく個に応じた指導の実践 福岡教育大学教育学部教授 一木 薫 氏	昼食・休憩	- 自立活動の個別の指導計画の作成のポイント - 持参した個別の指導計画の検討	講義の振り返り	

8:30 9:00		9:40 9:50		12:00 13:00		15:10 15:30	
講義 3	実技・演習・交流		協議	説明			
自立活動の指導の実践 ※障がい種別部会	障がい種に応じた自立活動の指導 ※障がい種別部会	昼食・休憩	今後の指導の充実に向けて ※障がい種別部会	講義の振り返り			

3 事後研修 1月21日(火) 【遠隔】

12:30 13:00		14:40 14:50		15:00	
交流・協議 1	説明	説明	説明	説明	説明
自立活動の指導の改善・充実に向けて	講義のまとめ	講義の振り返り・閉講式			

障がい種に応じた
自立活動の指導を充実
させましょう！



○ 主な内容

- ・自立活動の基本と効果的な指導の在り方を学びます。
- ・持参した自立活動の個別の指導計画を基に、指導を充実させるための方策を検討します。
- ・2日目は、障がい種別部会に分かれ、障がい種に応じた効果的な指導を行うための実技や演習を行います。

○ 備考

- ・事前研修の選択講義
視覚障がい、聴覚障がい、言語障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱、自閉症・情緒障がい、LD・ADHDから選択して受講します。
- ・課題解決プランニングシートの提出について
① 本研修前：10月15日、②事後研修前：1月10日、③全日程終了後：2月25日

2 ハイフレックス研修

◆ 一覧

番号	研修名	期 日		定員 (形態別受入れ人数)	掲載 ページ	申込
1	特別支援教育基本セミナー	事前研修	4月1日～ 4月19日の間	210名 (集合60名、遠隔120名)	6ページ	3月～4月
		本研修	4月20日			
2	障がい別エントリーコース	事前研修	4月1日～ 4月26日の間	障がい種ごとに設定	7ページ	3月～4月
		本研修	4月27日 (障がい種別に実施)			
3	特別支援教育コーディネーター 基本コース	事前研修	4月19日～ 5月9日の間	130名 (集合30名、遠隔100名)	8ページ	4月～5月
		本研修	5月10日			
4	心理アセスメントコース	本研修	夏季: 8月1日～8月2日 冬季: 1月14日～1月15日	部会ごとに設定	9ページ	6月～7月 11月～12月
5	寄宿舎指導員コース	事前研修	11月27日～ 12月25日の間	60名 (集合30名、遠隔30名)	10ページ	10月～12月
		本研修	12月26日			
6	実習助手コース	事前研修	12月13日～ 1月19日の間	40名 (集合20名、遠隔20名)	11ページ	11月～12月
		本研修	1月10日			
7	特別支援学校POWER UPセミナー	本研修	第1回 5月16日 第2回 7月5日 第3回 8月8日 第4回 11月11日 第5回 2月20日	50名 ※第3回をハイフレックス研修として実施	12ページ ～ 13ページ	4月

※ハイフレックスで実施する場合の【集合研修】に、旅費の措置はありません。

※ハイフレックス研修の受講受付は、全て申込開始日の16:00から開始します。

特別支援教育基本セミナー

特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒一人一人に応じた指導や支援に関する知識・技能を身に付けます。

対象：幼・小・中学校・高等学校等の教職員
特別支援学校の教職員
保育園の保育士等
市町村教育委員会職員
※主に特別支援教育担当経験年数3年未満の方
定員：210名（集合：60名、遠隔：150名）
申込：3月25日（月）～4月16日（火）
特センWebページから申込み

○ 日程

1 事前研修 4月1日（月）～4月19日（金）の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

講義 1	講義 2	講義 3
特別支援教育の現状と課題 1・2 (各約20分)	特別的教育課程について (約20分)	特別な教育的支援を必要とする 幼児児童生徒の理解と支援 1・2 (各約20分)

2 本研修 4月20日（土） 【集合又は遠隔】

12:30 13:00 13:10 13:50 14:00 14:50 15:00 16:20 16:30

説明	講義 4	講義 5	演習・協議	説明
開講・オリエンテーション	・特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の指導のポイント 特セン所員	・授業づくりの実際 ※担当校種別に実施 特別支援学級担当教員 通級指導教室担当教員 特別支援学校教員	・個別の指導計画を活用した指導や支援の充実に向けて	振り返り・閉講

特別支援教育を担当して3年未満の先生方向けの研修です！



○ 主な内容

- ・特センが作成した「特別支援学級担任のハンドブック（新訂版）」及び「同ハンドブック（追補版）【自立活動編】」を基に、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の指導上のポイントを学びます。
- ・講師の実践から授業づくりの工夫を学びます。
- ・実践上の課題や悩みを話し合ったり、指導や支援の充実に向けた取組についてグループで考えたりします。

○ 備考

- 本研修の受講方法について
 - ・特センからの旅費の措置はありません。集合で受講する方は、自費又は自校からの旅費措置等にて御参加ください。
 - ・集合で受講する方は、受付時間までに特センにお越しください。
 - ・遠隔で受講する方は、カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。

障がい別エントリーコース

各障がいにおける障がいの状態に応じた指導や支援に関する基本的な知識・技能等を身に付けます。

対象：小・中・高等学校等の教職員
特別支援学校教職員
※初めて障がいのある幼児児童生徒を担当する教員、他障がい種校からの転任者等
定員：障がい種ごとに設定
申込：3月25日（月）～4月17日（水）
特センWebページから申込み

○ 日程

1 事前研修 4月1日（月）～4月26日（金）の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

選択講義	
各障がいの理解と関わり方について1・2 （各約20分）※障がい種別の講義を選択して受講します。	

2 本研修 4月27日（土）に障がい種別に開催【集合又は遠隔】

＜午前の部＞ 8:30 9:00 9:10 9:40 10:10 10:20 11:50 12:00
＜午後の部＞ 13:00 13:30 13:40 14:10 14:40 14:50 16:20 16:30

説明	講義1	講義2	協議	説明
開講・オリエンテーション	・各障がいの状態に応じた教育的対応の基本 特セン所員	・各障がいにおける指導の実際 特別支援学校又は特別支援学級担当教員等	・各障がいにおける指導の改善・充実に向けて	振り返り・閉講
受付				

各障がいの状態に応じた指導・支援の基本を学びます！



○ 主な内容

- ・障がいの特性の理解と指導の基本を学びます。
- ・講師の実践からそれぞれの障がいに応じた自立活動の実際を学びます。
- ・指導の改善・充実に向けた取組を考えます。

○ 設定する部会

＜午前の部＞

- ①視覚障がい部会 10名
- ②聴覚障がい部会 20名
- ③肢体不自由・病弱・身体虚弱部会 15名
- ④自閉症・情緒障がい部会 60名

＜午後の部＞

- ⑤言語障がい部会 10名
- ⑥知的障がい部会 40名
- ⑦LD・ADHD部会 20名

○ 備考

- 受講申込について
 - ・本コースは、障がい種別に実施します。申込みの際に希望する障がい種を選択してください。また、午前と午後で、合わせて2つの部会を受講することも可能です。
 - ・担当する障がい種に関わらず、希望する部会にお申込みいただけます。
- 本研修の受講方法について
 - ・特センからの旅費の措置はありません。集合で受講する方は、自費又は自校からの旅費措置等にて御参加ください。
 - ・集合で受講する方は、受付時間に特センにお越しください。
 - ・遠隔で受講する方は、カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。

特別支援教育コーディネーター基本コース

初めて特別支援教育コーディネーターを担当する教員が、教育相談等で必要となる基本的な知識・技能を身に付けます。

対象：経験年数が1～3年程度の特別支援教育コーディネーター
(小・中学校、高等学校、特別支援学校等)
定員：130名(集合：30名、遠隔：100名)
※特別支援教育コーディネーター担当初年度の方には集合研修を推奨
申込：4月5日(金)～5月1日(水)
特センWebページから申込み

○ 日程

1 事前研修 4月19日(金)～5月9日(木)の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

講義 1	講義 2
特別支援教育コーディネーターの役割 (約20分)	教育相談の在り方 1・2 (各約20分)

2 本研修 5月10日(金) 【集合又は遠隔】

12:30 13:00 13:10

14:40 14:50

16:20 16:30

説明	講義 3	演習・協議	説明
開講・オリエンテーション	・特別支援教育コーディネーター業務の実際 小・中学校教員 特別支援学校教員	・教育相談の実践に向けて ※形態別の演習・協議	振り返り・閉講
受付			

コーディネーター業務の
基本の「キ」を学びます！



○ 主な内容

- ・特別支援教育コーディネーターの役割や業務に関する基礎的事項を学びます。
 - ・業務の推進に役立つ、形態別の演習・協議を実施します。
- 【集合】教育相談の事例を活用しながら、カウンセリングマインドに基づいて幼児児童生徒、保護者、学級担任等の相談に応じるロールプレイ
- 【遠隔】校内委員会でのケース検討を想定した、インシデント・プロセス法による協議

○ 備考

- 本研修の受講方法について
- ・特センからの旅費の措置はありません。集合で受講する方は、自費又は自校からの旅費措置等にて御参加ください。
- ・集合で受講する方は、受付時間までに特センにお越しください。
- ・遠隔で受講する方は、カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。

心理アセスメントコース

障がいのある幼児児童生徒を理解し指導に生かすため、心理検査の実施と活用に関する基礎的な知識や技能を身に付けます。

対象：幼稚園等教員
小・中・高等学校等教員
特別支援学校教員
定員：部会ごとに設定
申込：夏季6月7日（金）～7月18日（木）
冬季11月19日（火）～12月24日（火）
特センWebページから申込み

○ 日程

- 1 本研修 夏季8月 1日（木）～8月 2日（金） 【集合又は遠隔】
冬季1月 14日（火）～1月 15日（水） 【集合又は遠隔】

9:30 9:50 10:00 12:00 13:00 14:00 16:20 16:30

説明	【基調講義】	講義1	演習1	説明
受付	・アセスメントの意義と心理検査の活用 北海道教育大学函館校特任教授 青山 真二 氏 ※冬季は録画した講義を視聴	・心理検査の概要 【部会1】 WISC-V知能検査 【部会2】 KABC-II 【部会3】 田中ビネー知能検査V 【部会4】 テストバッテリー (鈴木ビネー、PVT-R、S-M社会生活能力検査)	・心理検査の実施方法	振り回り・連絡

8:30 9:00 11:00 12:00 13:00 15:20 15:30

説明	演習2	講義2	演習3	説明
受付	・心理検査の実施方法 (演習1の続き)	・検査結果の解釈	・事例を用いた検査結果の分析	振り回り・閉講

※終日、部会別に分かれて実施

指導に役立てる
アセスメントを
学びます！



○ 主な内容

- ・アセスメントの意義と心理検査の活用について理解を深めるとともに、演習を通して心理検査の正しい実施方法を学びます。
- ・検査結果を読み取り、指導に生かす方法を検討します。

部会	集合	遠隔
WISC-V知能検査	20名	50名
KABC-II	15名	30名
田中ビネー知能検査V	15名	30名
テストバッテリー (鈴木ビネー、PVT-R、S-M)	15名	30名

○ 備考

- 本研修の受講方法について
 - ・特センからの旅費の措置はありません。集合で受講する方は、自費又は自校からの旅費措置等にて御参加ください。
 - ・集合で受講する方は、受付時間までに特センにお越しください。
 - ・遠隔で受講する方は、カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。
- 演習1・2について
 - ・集合で受講する方は、当センターの検査用具を用いて実技演習が可能です。
 - ・遠隔で受講する方は、検査用具がなくても受講が可能です。なお、特センの検査用具の貸出しは行っておりません。

寄宿舎指導員コース

幼児児童生徒の理解や自立と社会参加に向けた生活指導の実践的な指導力を身に付けます。

対象：特別支援学校の専門寄宿舎指導員、寄宿舎指導員

定員：60名（集合：30名、遠隔：30名）

申込：10月28日（月）～12月12日（木）

特センWebページからの申込み

○ 日程

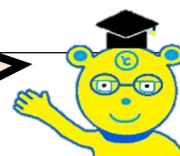
1 事前研修 11月27日（水）～12月25日（水）の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

選択講義	講義 1
各障がいの理解と関わり方について 1・2	寄宿舎における学校や保護者との連携について
※障がい別で選択（各約20分）	（約20分）

2 本研修 12月26日（木） 【集合又は遠隔】

12:20	12:50	13:00	14:20	14:30	15:10	16:20	16:30
説明	説明	話題提供	講義 2	協議	説明	説明	説明
開講・オリエンテーション	・寄宿舎における障がいのある児童生徒への性の指導について	・生活指導の充実に向けた指導実践	・生活指導の充実に向けて	協議	振り返り・閉講		
受付	京都教育大学総合教育臨床センター講師 門下祐子氏	寄宿舎指導員					

生活指導の充実を目指しましょう！



○ 主な内容

- ・講師の実践から寄宿舎指導員に求められる専門性や生活指導を充実させる指導の工夫について学びます。
- ・生活指導の実践上の課題や悩みを話し合ったり改善の方策を検討したりします。

○ 備考

- 事前研修の選択講義について
 - ・視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由から、担当する障がい種を選択して受講します。
- 本研修の受講方法について
 - ・特センからの旅費の措置はありません。集合で受講する方は、自費又は自校からの旅費措置等にて御参加ください。
 - ・集合で受講する方は、受付時間までに特センにお越しください。
 - ・遠隔で受講する方は、カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。

実習助手コース

実習担当の教諭と連携し、作業学習及び実習方法等の工夫・改善に努めながら、実習助手として資質能力の向上を図るための知識・技能等を身に付けます。

対象：特別支援学校の実習助手

※今年度の新採用又は採用から5年程度の方

定員：40名（集合：20名、遠隔：20名）

申込：11月13日（水）～12月20日（金）

特センWebページから申込み

○ 日程

1 事前研修 12月13日（金）～1月9日（木）の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

選択講義	
各障がいの理解と関わり方について1・2	
※障がい種別で選択（各約20分）	

2 本研修 1月10日（金）【集合又は遠隔】

13:00 13:30 13:40

14:10

15:20 15:30

受付	説明	講義	交流・協議	説明
	開講・オリエンテーション	・実習助手の業務の実際 特別支援学校実習助手	・専門性の向上に向けた実践の交流 特セン所員	振り返り・閉講

全道の実習助手と交流して
視野を広げましょう！



○ 主な内容

- ・障がいのある生徒への適切な支援について学びます。
- ・講師の実践から、作業学習等の工夫や教職員間の連携のポイントについて学びます。
- ・自校の強みを再認識したり、他校の特色ある取組を知ったりすることで、実習助手としての専門性を高めます。

○ 備考

- 事前研修の選択講義について
 - ・視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由から、担当する障がい種を選択して受講します。
- 本研修の受講方法について
 - ・特センからの旅費の措置はありません。集合で受講する方は、自費又は自校からの旅費措置等にて御参加ください。
 - ・集合で受講する方は、受付時間までに特センにお越しください。
 - ・遠隔で受講する方は、カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。

特別支援学校POWER UPセミナー

専門性の向上に主体的に取り組む教職員が、全道的な視点で特別支援学校の今日的な課題を共有し、特別支援教育の推進・充実を図ります。

対象：道立特別支援学校教職員

※学校の中核としての活躍が期待される教諭・養護教諭・栄養教諭・寄宿舎指導員・実習助手 他

定員：50名

申込：4月22日（月）までに、特センWebページから申込み

○ 日程

第1回 5月16日（木）【遠隔】

14:30 15:00 15:20 16:10 16:50 17:00

受付	説明	説明	交流・協議	説明
	開講	「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校と地域の連携 北海道教育庁学校教育局特別支援教育課職員	自己紹介と自校の状況	閉講

第2回 7月5日（金）【遠隔】

14:30 15:00 15:20 16:10 16:50 17:00

受付	説明	説明	交流・協議	説明
	開講	学習者主体の教育活動の実現に向けた取組の実践 特別支援学校校長	自校の課題と取組の工夫	閉講

第3回 8月8日（木）【集合又は遠隔】

9:00 9:30 9:40 10:50 11:00 12:00 13:00 14:50 15:00 16:20 16:30

受付	説明	講話	交流・協議 1	昼食・休憩	交流・協議 2	まとめ	説明
	開講	同僚性を高め、協働的な組織運営の在り方について 北海道立特別支援教育センター教育課長	課題解決のための Dialogue(ダイアログ)		※午前の続き	各グループ間の情報交流	閉講

第4回 11月11日（月）【遠隔】

14:30 15:00 15:20 16:10 16:50 17:00

受付	説明	説明	交流・協議	説明
	開講	特別支援学校の現状と今後の課題 北海道教育庁教育指導監	課題別グループ協議 1	閉講

第5回 2月20日(木) 【遠隔】

14:30 15:00 15:20

16:10

16:50 17:00

	説明	説明	交流・協議	説明
受付	開講	・特別支援学校における教育活動の充実に向けて、ミドルリーダーに期待すること 北海道立特別支援教育センター所長	・課題別グループ協議2	閉講

★第4回・第5回の課題別グループ協議について

申込時に、協議を通して解決を図りたい課題を、以下から選択します。

課題別グループ協議1

- ①ICT活用 ②授業改善
- ③センター的機能 ④保護者連携

課題別グループ協議2

- ①働き方改革 ②同僚性と人材育成
- ③学校の危機管理 ④校内研修の活性化と専門性の向上

**全道の先生方と交流する中で、
自校の課題解決に向けた
方策の在り方を検討します。**



○ 主な内容

- ・経験豊かな現職の校長や、教育行政職員からの説明や講話を通じて、特別支援教育に関する今日的な課題について学びます。
- ・全道のミドルリーダー同士による協議を通じて、自校の課題を解決するための方策を検討します。
- ・第3回は、ハイレックス研修として実施し、研修ニーズに応じて受講方法を選択できます。

○ 備考

- 本セミナーの申込方法について
 - ・本セミナーの実施要領を、4月上旬に各道立特別支援学校に送付します。
 - ・申込専用の2次元コード又はURLを、自校の校長先生又は副校長・教頭先生から受け取り、申込フォームに必要事項を御記入の上、申込みください。
 - ・本セミナーは5回構成とし、全ての受講を基本としています。各回ごとの受講は、募集しません。
- 本セミナーの受講方法について
 - ・第1回～2回、4回～5回は遠隔研修のみで実施します。
 - ・遠隔研修で受講する際は、カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。
 - ・第3回のセミナーを【集合】で受講する方は、受付時間までに特センにお越しください。
 - ・特センからの旅費の措置はありません。集合で受講する方は、自費又は自校からの旅費措置等にて御参加ください。

3 遠隔研修

◆ 一覧

番号	コース名	期 日		定員	掲載ページ	申込
1	高等学校コース	事前研修	7月12日～ 8月6日の間	遠隔 50名	15ページ	6月～7月
		本研修	8月7日			
2	幼稚園等コース	事前研修	9月20日～ 10月10日の間	遠隔 120名	16ページ	8月～9月
		本研修	10月11日			
3	通常の学級コース	事前研修	12月19日～ 1月8日の間	遠隔 100名	17ページ	11月～12月
		本研修	1月9日			

※遠隔研修の受講受付は、申込開始日の16：00から開始します。

高等学校コース

特別な教育的支援が必要な生徒一人一人の障がいの特性に応じた指導や支援の充実に向け、基礎的な知識・技能を身に付けます。

対象：高等学校教職員、中等教育学校教職員、中学校教職員

定員：50名

申込：6月12日（水）～7月24日（水）

特センWebページから申込み

○ 日程

1 事前研修 7月12日（金）～8月6日（火）の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

講義 1	講義 2	講義 3
高等学校段階における障がいの特性の理解（約20分）	高等学校における特別な教育的支援が必要な生徒のニーズに応じた指導や支援（約20分）	高等学校における特別支援教育の充実（約20分）

2 本研修 8月7日（水） 【遠隔】

12:30	12:50	13:00	14:00	14:50	15:00	16:20	16:30
受付	説明	基調講義	講義 4	協議	説明	振り返り・閉講	
	開講・オリエンテーション	高等学校における社会参加を見据えた適切な指導と必要な支援 大阪大谷大学教育学部教授 小田 浩 伸 氏	学習及び対人関係に支援が必要な生徒の指導や支援の実際 全日制高等学校教職員 通級指導教室（高等学校）担当教員	高等学校における特別な教育的支援が必要な生徒の指導の充実に向けて			

高等学校における指導や支援の手掛かりが得られます。



○ 主な内容

- ・特別な教育的支援が必要な高等学校の生徒の学習指導や生徒指導、進路指導の実際について、教員講師の実践から学びます。
- ・生徒一人一人に応じた指導や支援について、グループで一緒に考えます。

○ 備考

- 本研修の受講方法について
 - ・カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。

幼稚園等コース

特別な教育的支援を必要とする幼児の理解を深めるための基礎・基本や、早期からの切れ目のない一貫した支援に関する知識・技能等を身に付けます。

対象：幼稚園、認定こども園、保育所
及び発達支援センター等職員
定員：120名
申込：8月20日（火）～9月26日（木）
特センWebページから申込み

○ 日程

1 事前研修 9月20日（金）～10月10日（木）の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

講義 1	講義 2
幼児の発達と障がいの特性の理解 1・2 (各約20分)	多様な学びの場の理解と 適切な就学先決定に向けた保護者支援 (約15分)

2 本研修 10月11日（金） 【遠隔】

12:30	13:00	13:10	14:10	14:40	14:50	16:20	16:30
説明	講義 3	講義 4	演習・協議	説明			
開講・オリエンテーション	特別な教育的支援を必要とする幼児への指導や支援の実際 認定こども園聖ミカエル幼稚園園長 渡部良子氏	幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて 北海道教育庁職員	幼児の立場に立った指導や支援の充実に向けて	振り返り・閉講			
受付							

幼児の困難さの
背景に目を向けた支援を
一緒に考えましょう！

○ 主な内容

- ・ 幼児期の発達と障がいの特性について学びます。
- ・ 講師の実践から、幼稚園等における指導や支援の工夫を学びます。
- ・ 小学校への円滑な接続に向けた取組の工夫について検討します。



○ 備考

- 本研修の受講方法について
 - ・ カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。
 - ・ お一人につき一台の端末を御用意いただくことを基本としますが、端末の準備が難しい場合は、事前に御相談ください。
- 受講証について
 - ・ 本研修は、施設型給付費等に係る処遇改善等加算Ⅱの修了要件に該当する研修です。（幼稚園・認定こども園（保育所型認定こども園を含む）なお、本研修は保育所・地域型保育事業所の修了要件である「保育士等キャリアアップ研修」には該当しません。
 - ・ 受講証を希望する方には、事前研修及び本研修の全ての受講並びに受講後のリフレクションの提出をもって発行します。

通常の学級コース

通常の学級における特別な教育的支援が必要な児童生徒の指導や支援に必要な知識・技能を身に付けます。

対象：小・中学校等の通常の学級を担当する教職員

定員：100名

申込：11月19日（火）～12月23日（月）
特センWebページから申込み

○ 日程

1 事前研修 12月19日（木）～1月8日（水）の間 【配信】 ※本研修の前に受講が必要です。

講義 1	講義 2	講義 3
通常の学級における 特別支援教育について （約20分）	通常の学級に在籍する特別な 教育的支援が必要な児童生徒 （約20分）	切れ目のない一貫した指導や支援に 向けた個別的教育支援計画等の活用 （約20分）

2 本研修 1月9日（木） 【遠隔】

12:30		12:50		13:00		13:40		14:40		14:50		16:20		16:30	
受付	説明	講義 4			講義 5			協議			説明				
	開講・オリエンテーション	・特別な教育的支援が必要な児童生徒の理解と対応 特セン所員			・特別な教育的支援が必要な児童生徒の指導の実際 小・中学校教員			・学級全体に分かりやすい指導の工夫や個別の配慮について			振り返り・閉講				
全ての児童生徒に分かりやすい指導支援について学びます															

全ての児童生徒に
分かりやすい指導支援に
ついて学びます。



○ 主な内容

- ・障がい当事者の動画を視聴し、児童生徒の困難さを理解します。
- ・講師の実践から分かりやすい授業や学級経営の工夫について学びます。
- ・学級全体に分かりやすい指導を行うための方策を検討します。

○ 備考

- 本研修の受講方法について
 - ・カメラ及びマイク機能のある端末を御準備の上、学校・自宅等からZoomミーティングに参加してください。

4 公開講義

◆ 目的

特別支援教育の理解啓発を図ることを目的に、各研修の講義等を公開します。

◆ 一覧

番号	日 時	講義名	受付可能人数	申込期間
①	8月1日（木） 10:00～12:00	アセスメントの意義と心理検査の活用 北海道教育大学函館校 特任教授 青 山 眞 二 氏	80名	7月1日（月） 9:00 ～7月25日（木） 16:00
②	9月18日（水） 10:00～12:00	特別支援教育コーディネーターに求められる ファシリテーションの力 北海道教育大学釧路校 准教授 田 中 雅 子 氏	80名	8月28日（水） 9:00 ～9月11日（水） 16:00
③	9月26日（木） 10:00～12:00	資質・能力の育成を目指した授業づくり 国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官 福 本 徹 氏	80名	8月29日（木） 9:00 ～9月19日（木） 16:00
④	10月22日（火） 10:00～12:00	自立活動の指導の基本と実態把握に基づく個 に応じた指導の実践 福岡教育大学教育学部 教授 一 木 薫 氏	80名	9月24日（火） 9:00 ～10月15日（火） 16:00

※公開講義は、全てWeb会議サービス（Zoom）により配信します。

※公開講義の申込方法については、道民及び教職員に対して、特センWebページ等を通じてお知らせします。

※公開講義の受講に当たっての留意事項については、公開講義の受講ガイド（22ページ）の（2）を確認してください。

5 研修支援

◆ 目的

学校や市町村教育委員会、教育関係団体等からの依頼に応じて、特センと遠隔又は特セン所員の派遣により講義を実施したり、研修用動画や資料の提供等を行ったりして、特別支援教育に関する学校力や教職員の専門性の向上を図る取組や、地域における特別支援教育の充実に向けた取組を支援します。

◆ 内容

特センと遠隔で行う研修

○ 概要

依頼者が主催する研修会等にWeb会議サービス（Zoom）を活用し、講義・助言を行います。

○ 内容

校内研修会、研究会等での講義や助言



特セン所員を派遣する研修

○ 概要

依頼者が主催する研修会等に特セン所員を派遣し、講義・助言を行います。

○ 内容

校内研修会、研究会等での講義や助言



～ 研修テーマの例 ～

- ・通常の学級における発達障がいの理解と対応
- ・特別支援学校におけるICTを活用した授業づくり

近隣の学校と合同で研修会を実施することもできます。



※派遣や遠隔の研修は、学校や教育委員会、特別支援教育関係団体が対象です。

研修用動画を視聴する研修

○ 概要

特別支援教育の基礎的・基本的事項に関する研修用動画の配信を行います。

○ 内容

特センライブラリ

- ・各動画は、20分程度で構成されています。
- ※詳細は、20ページをご覧ください。

特センに来所して行う研修

○ 概要

特センに来所し、教育資料等を活用しながら自らの課題に応じた研修を行います。

○ 内容

- ・特別支援教育に関わる図書の閲覧
- ・検査用具を活用した自主研修
- ※内容に応じて、特セン所員が情報提供を行うことができます。

【研修支援】の申込みはこちら



Webページ上の申込フォームに必要事項を入力してください。



いつでもどこからでも視聴できる研修用動画の配信

特センライブラリ

配信している研修用動画の一例

- ・ 特別支援教育の現状と課題 1・2
- ・ 特別支援教育における ICT 活用
- ・ 各障がいの理解と関わり方について（障がい別）
- ・ 自立活動の指導の基本について
- ・ 通常の学級に在籍する特別な教育的支援が必要な児童生徒への指導
- ・ 高等学校段階における障がいの特性の理解
- ・ 心理検査について など多数掲載



活用事例

○校内研修で視聴



校内研修の導入に 20 分の動画を視聴してから、演習やディスカッションをすることで校内研修が充実しました！！

ほかにも・・・

- ・ 放課後などの時間を活用して視聴
- ・ 長期休業中の自主研修として視聴
- ・ 自身の課題に応じていくつかの動画を組み合わせて視聴



受講者の声



途中で動画を止めてメモを取ったり、巻き戻して繰り返し視聴したりすることができ、理解を深めることができました。

オンデマンド形式で、空いた時間に自分のペースで研修を受けることができ良かったです。



申込先



ご登録いただいたメールアドレスに、視聴に必要なパスワードをお送りします。

6 申込手続き



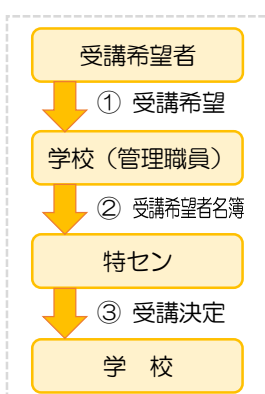
今年度から「全国教員研修プラットフォーム」の運用が開始
システム運用開始後、申込方法が変わります！！

文部科学省が4月から、研修情報の登録・記録が可能な新システム「全国教員研修プラットフォーム：Plant（プラント）」の稼働を開始することを受け、道教委においても本システムの運用を開始します。

つきましては、本システムの運用開始に伴い、特センが実施する研修への申込方法が一部、変更されます。（6月頃を予定。）運用開始までは、下記に示すように、これまでどおりの方法で申込みを受け付けますが、本システム運用開始後の申込み方法については、決定し次第、特センWebページでお知らせします。

なお、本システムの詳細及び今後の運用開始時期の見通しについては今後、道教委が発出する通知を参照してください。

(1) 集合研修の申込手続き



【申込手続きから受講者の決定までの流れ】

- ①受講希望者は、管理職員に受講希望を申し出る。
- ②管理職員は、通知に基づき、「受講希望者名簿」を特センに報告する。
- ③特センから、受講決定者及び受講に関する連絡事項を通知する。
※受講希望者数が定員を超えた場合は、調整の上、受講者を決定します。

【受講者の取消・変更手続き】

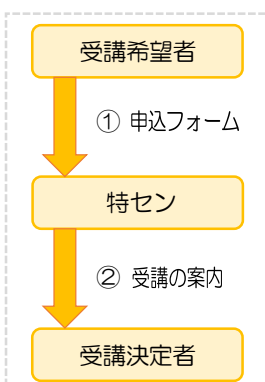
受講者を取消又は変更する場合は、管理職員から特セン研究・研修事業部（011-612-6328）へ連絡し、「受講取消届」や「受講変更届」を特センに提出してください。

※取消手続きの様式は、特センWebページからダウンロードが可能です。

報告先

道立特別支援学校・国立学校 → 特センへ直接
道立高等学校・中等教育学校 → 教育局 → 特セン
市町村立学校 → 市町村教育委員会 → 教育局 → 特セン

(2) ハイフレックス研修及び遠隔研修の申込手続き



【申込手続きから受講者の決定までの流れ】

- ①受講希望者は、所定の申込フォームに入力する。
- ②特センから、申込み時に登録したメールアドレスあてに、受講に関する案内を送信する。
※希望者数が、各研修の定員を超えた場合は、申込期間中であっても申込みを締め切る場合があります。

【受講の取消手続き】

受講を取り消す場合は、受講者本人又は管理職員から特セン研究・研修事業部（011-612-6328）へ連絡してください。

7 受講ガイド

(1) 特セン研修の受講

研修受講上の留意点

- 研修講座にふさわしい服装で受講してください。
- 特センWebページに、受講に関わる連絡事項を掲載することがありますので、事前に確認してください。
- 研修の受講に当たって必要な提出物がある場合は、メール等でお知らせします。
- 研修講座を欠席したり、遅刻又は早退したりする場合は、管理職員を通じて御連絡ください。
- 協議グループ等を編制・変更するため、欠席の場合は、速やかに連絡してください。

集合研修の場合

- 名札を各自持参してください。
- 必要に応じて各自昼食を用意してください。(近隣にコンビニエンスストア等はありません。)
- ごみの持ち帰りをお願いします。
- 施設内及び敷地内は、全面禁煙です。
- 特センの空調設備は部屋単位での調節が難しいため、必要に応じて室温の変化に対応可能な服装やひざ掛け等の準備をお願いします。

駐車場の利用について

- 特センに來所する際は、旅行命令による移動方法で來所ください。なお、特別な理由(公共交通機関の便が悪く、研修に間に合わないなど)により自家用車で來所する場合は、停められる台数に限りがあるため、事前に特センに御連絡ください。

遠隔研修の場合

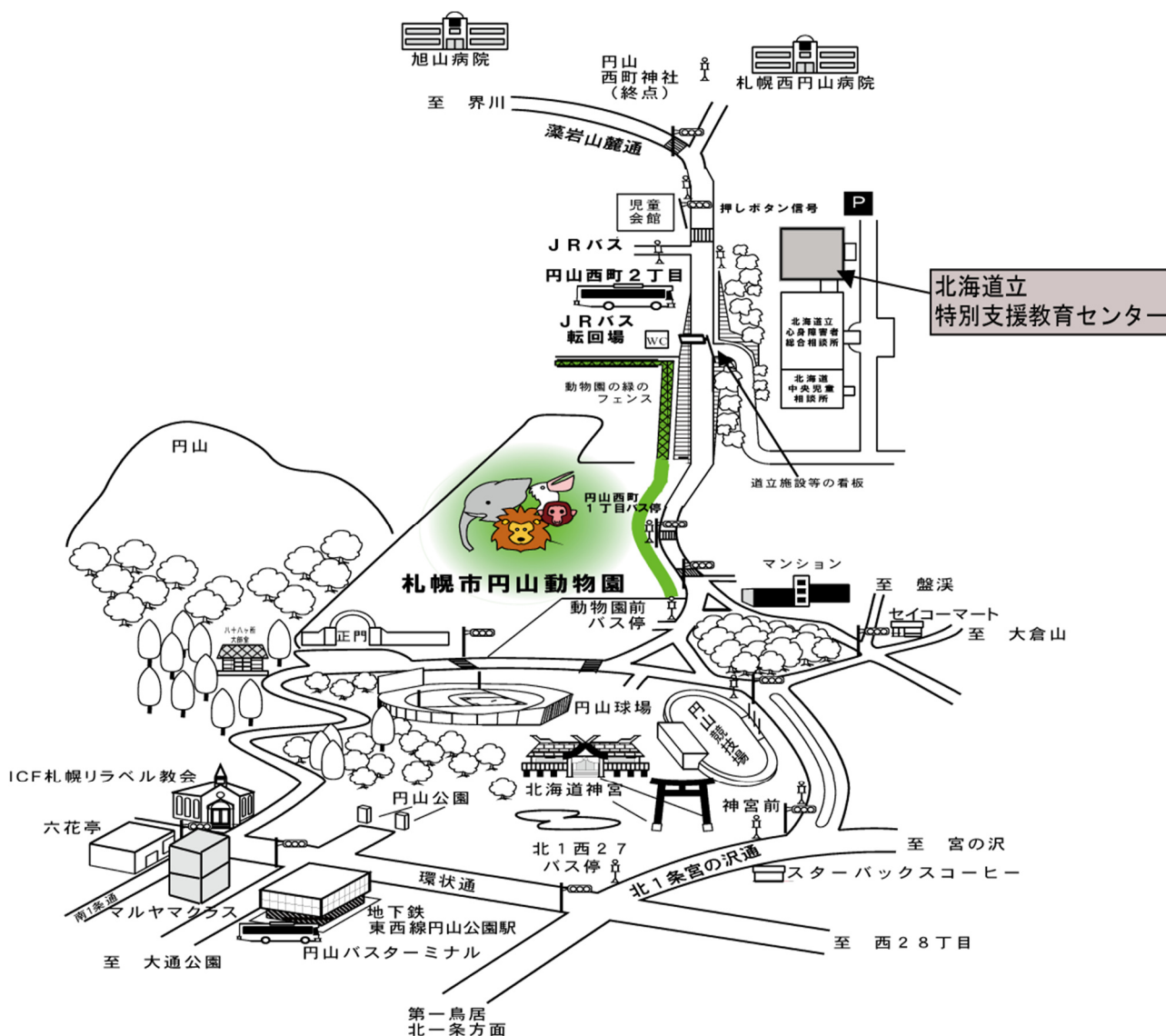
- 遠隔研修で利用するWeb会議サービス(Zoom)に接続するための機器等は、受講者自身が準備してください。
- 同一校から複数名で受講する場合も、協議に備え、一人一台の端末を御用意ください。
- 講義資料は特センWebページに掲載しますので、事前にダウンロードしてお手元に準備してください。

(2) 公開講義の受講

受講に当たって

- 公開講義は、全て遠隔研修として実施します。遠隔研修で利用するWeb会議サービス(Zoom)に接続するための機器等は、受講者自身が準備してください。
- 講義資料は特センWebページに掲載しますので、事前にダウンロードしてお手元に準備してください。

8 アクセス



- 1 地下鉄東西線「円山公園」下車
- 2 円山バスターミナルから

円15・循環円15	動物園線（円山西町神社前行）
-----------	----------------

 又は

円16・循環円16	動物園線（円山西町2丁目行）に乗車
-----------	-------------------
- 3 「円山西町2丁目」で下車、徒歩5分

表紙のデザインコンセプト

DNAをイメージして制作しました。

北海道札幌視覚支援学校 高等部普通科第2学年 A・M さん

HOKKAIDO SPECIAL NEEDS EDUCATION CENTER

令和6年度（2024年度） 北海道立特別支援教育センター 研修事業案内

発行/北海道立特別支援教育センター
所在地/〒064-0944

北海道札幌市中央区円山西町2丁目1番1号

TEL (011) 612-6211 (代表)

FAX (011) 612-6213

教育相談事業	(011) 612-5030
研究・研修事業	(011) 612-6328
広報啓発・ICT教育推進事業	(011) 612-6327

URL <http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/>

E-mail tokukyo.12@pref.hokkaido.lg.jp

この表紙に使用した模様は、
北海道札幌視覚支援学校の生徒が制作しました。

北海道札幌視覚支援学校
マスコットキャラクター「あいりす」

